

# あおもり国スポ開幕

## 選手ら完全燃焼誓う



8、9月に詳細 18、19日に関連記事

第80回国民スポーツ大会「青の燐めきあおもり国スポ」冬季大会スケート・アイスホッケー競技会は31日、八戸市と三沢市で開催した。青森県内で同競技会が開催されるのは、2023年以來3年ぶり。10月に控える本大会を含めた完全大会としては、1977年のあすなろ団体以來49年ぶりの開催となる。同日は八戸市のSG GROUP ホールはちのへ（市公会堂）で開式式が行われ、42都道府県の選手たちが、氷都での完全燃焼を胸に刻んだ。（小嶋繁文）



開式式で選手宣誓をする大岩未奈美（左）。旗手は武田裕大（右）。SG GROUP ホールはちのへ

開式式では、大会に臨む選手らも笑顔で応じた。宮下宗一郎知事の開始宣言に続き、日本スポーツ協会の森岡裕哉専務理事や河合純一スポーツ庁長官らがあいさつ。熊谷雄一市長は開催地を代表し「競技を通じて選手と市民の交流が深まり、各会場で笑顔の花が咲くことを期待したい」と述べた。選手宣誓では、スピードスケート成年女子の大岩未奈美が「ライフズが、昨年12月に発生した青森県東方沖を震源とする地震に触れながら、私たちのプレーで勇気と希望を届けられるよう、大きな舞台に立てる喜びをかみ締めなが

ら、フェアプレー精神で戦い抜きたい」と力強く誓った。旗手はアイスホッケー成年男子の武田裕大（光聖学院陸）が務めた。歓迎アトラクションでは、県立八戸東高専道部が見事なパフォーマンスを披露。左任代虎舞は客席を所狭しと駆け回り、地元国スポの式典に先立って行われた。始まりを盛り上げた。同日は、フィギュアとショートトラックの2競技がスタート。会場には多くの観客が詰めかけ、美しい演技やスピード感あふれるレースに夢中となった。